EPSON
EXCEED YOUR VISION

アドレス帳変換ツール

NPD6128-00 JA

アドレス帳変換ツールの概要

アドレス帳変換ツールとは

アドレス帳変換ツールは、お客様のテキストアドレス帳ファイル（.csvや.txt）を、エプソン製プリンターで読み込み（インポート）できるアドレス帳ファイルに変換するツールです。
宛先に関する下記の基本情報に対応しています。

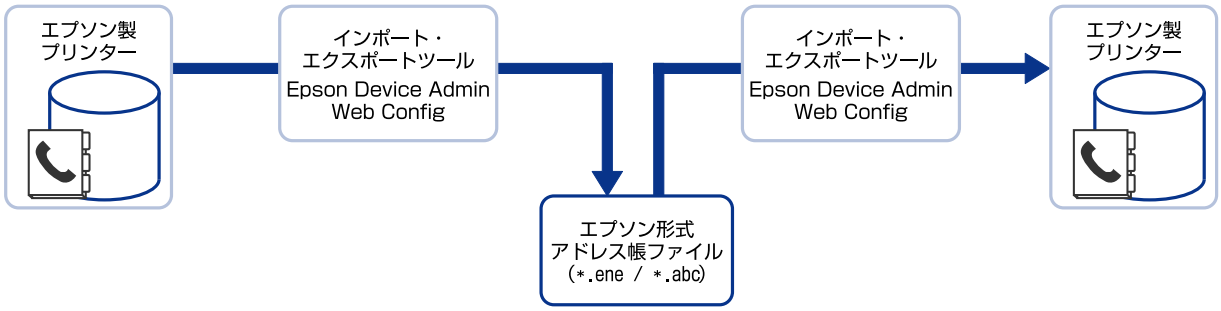
- 各宛先共通の登録名/検索名
- ファクス宛先のファクス番号
- スキャンtoメール機能の宛先のメールアドレス
- フォルダー（SMB）宛先のネットワークパス/ユーザー名/パスワード
- フォルダー（FTP）宛先のサーバーURL/ユーザー名/パスワード/接続モード/ポート番号

!重要

- 制御コード（通信モード、Fコード、常用指定、グループ登録、など）には対応していません。
- 列名は自動で割り当てられますが、割り当てが列の意味通りにならない場合があります。割り当てられた列の内容を確認してから変換してください。
- 変換結果は変換元ファイルの全ての内容が反映されない場合があります。変換元ファイルと変換結果を確認の上ご利用ください。

「エプソン製プリンター」から「エプソン製プリンター」へのアドレス帳移行

「エプソン製プリンター」から「エプソン製プリンター」へアドレス帳を移行する場合、Epson Device Admin（エプソン デバイス アドミン）やWeb Config（ウェブ コンフィグ）などエクスポート・インポートツールを使ってエクスポートした「エプソン形式のアドレス帳ファイル」を、別の「エプソン製プリンター」にインポートできます。

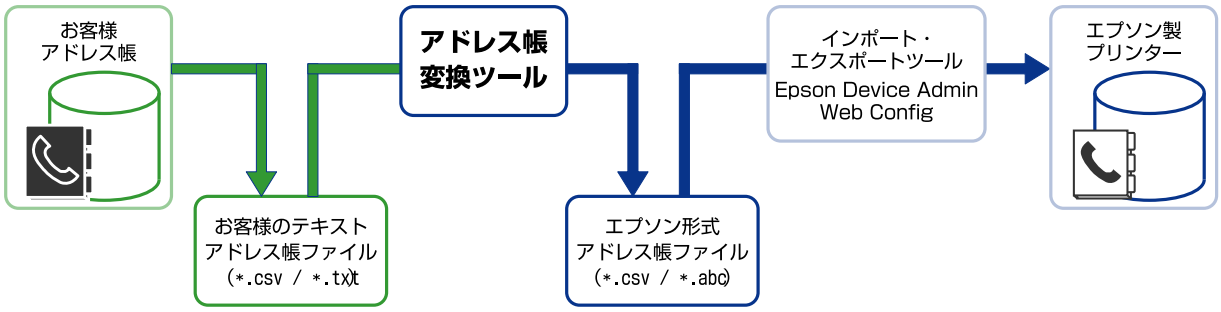


参考

- アドレス帳をEpson Device Adminでエクスポートする場合は.eneファイルで保存してください。.slkファイルや.csvファイルで保存すると、フォルダー宛先のパスワードが削除されますので再登録が必要になります。
- Web Configでエクスポートすると、アドレス帳変換ツールの.abcファイルと同じデータ形式で保存されますが、拡張子.abcは付与されません。

「お客様のテキストアドレス帳ファイル」から「エプソン製プリンター」へのアドレス帳移行

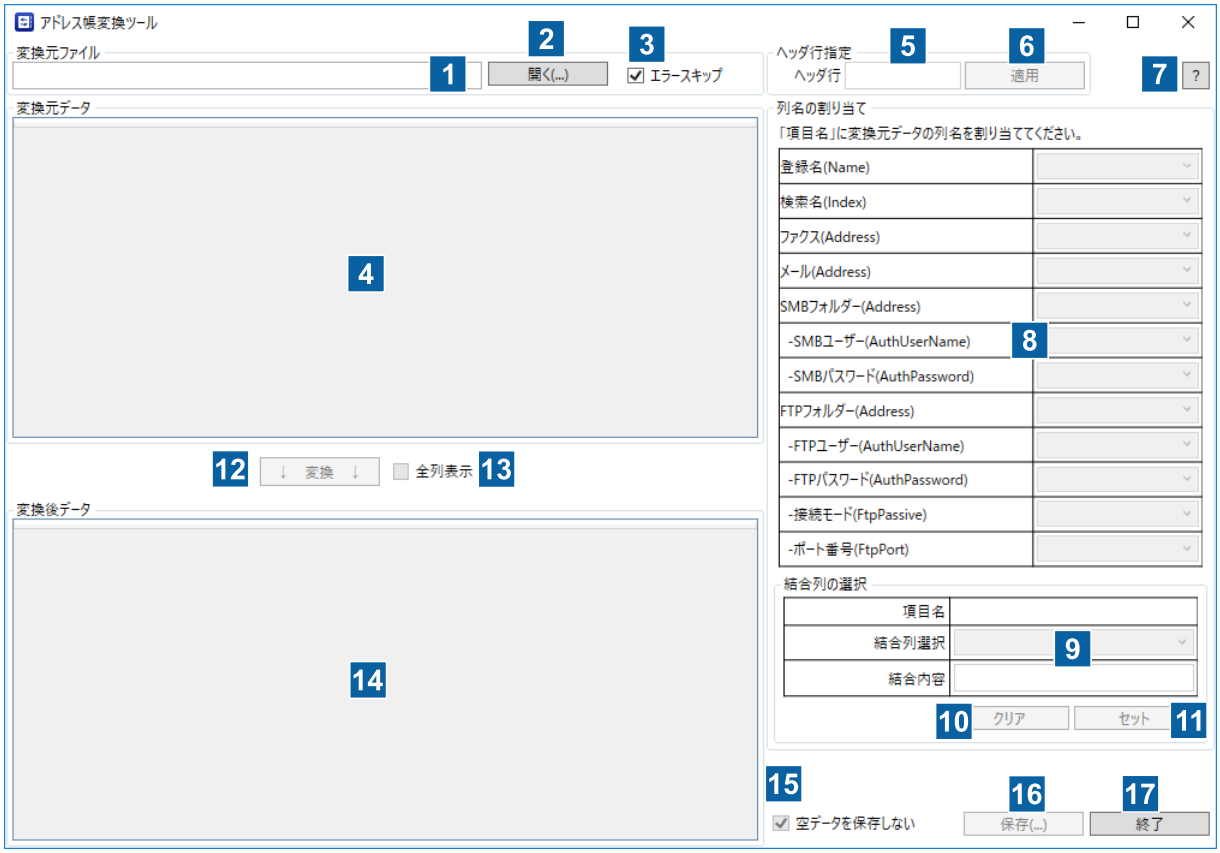
「お客様のテキストアドレス帳ファイル」から「エプソン製プリンター」へアドレス帳を移行する場合、そのままでは「エプソン製プリンター」にインポートできません。アドレス帳変換ツールを使って「エプソン形式のアドレス帳ファイル」に変換すると、エクスポート・インポートツールで「エプソン製プリンター」にインポートできます。



参考 アドレス帳変換ツールは、出力形式を選ぶことができます。Epson Device Adminでインポートする場合は.csvファイルを選択し、Web Congfigでインポートする場合は.abcファイルを選択します。

アドレス帳変換ツールの操作画面

アドレス帳変換ツールの画面構成を紹介します。



1. 選択している変換元ファイル名が表示されます。

2. 変換元ファイルを選択するダイアログボックスが開きます。

3. チェックを付けて読み込むと、変換元ファイルのエラーをスキップします。

   チェックを外して読み込むと、変換元ファイルのエラー内容を表示します。

4. 変換元ファイルの内容が表示されます。

5. 変換元ファイルのヘッダー行の行数を指定します。

   自動で指定されたヘッダー行の行数が違っている場合は、手動で指定してください。

6. ヘッダー行の指定を適用します。

7. アドレス帳変換ツールのヘルプが表示されます。

8. 変換後の列に変換元の列を割り当てます。

   変換元ファイルの列名を解釈できた場合は、項目に列名が自動で割り当てられます。正しく割り当てられているか確認してください。
   変換元ファイルの列名を解釈できなかった場合は［なし］が選択されます。項目に列名を手動で割り当ててください。

9. 結合する列の項目が表示されます。

   変換元ファイルの複数の列を結合させて、1つの項目に割り当てできます。
   例えば、「SMBフォルダ(Address)」では「コンピューター名/IPアドレス」と「フォルダー名」の情報を指定しますが、エプソン形式ではこれらを1つの項目で指定します。他社の形式などでは別々の列に指定されている場合があります。この場合、列を結合させて「\\コンピューター名/IPアドレス\フォルダー名」のように1つの項目に割り当てできます。

10. 結合内容をクリアします。

11. 選択した結合列を設定します。

12. アドレス帳の変換を開始します。

13. チェックを付けると、エプソン製プリンターの全項目が表示されます。

    チェックを外すと、変換対象になる項目のみが表示されます。

14. アドレス帳の変換結果が表示されます。

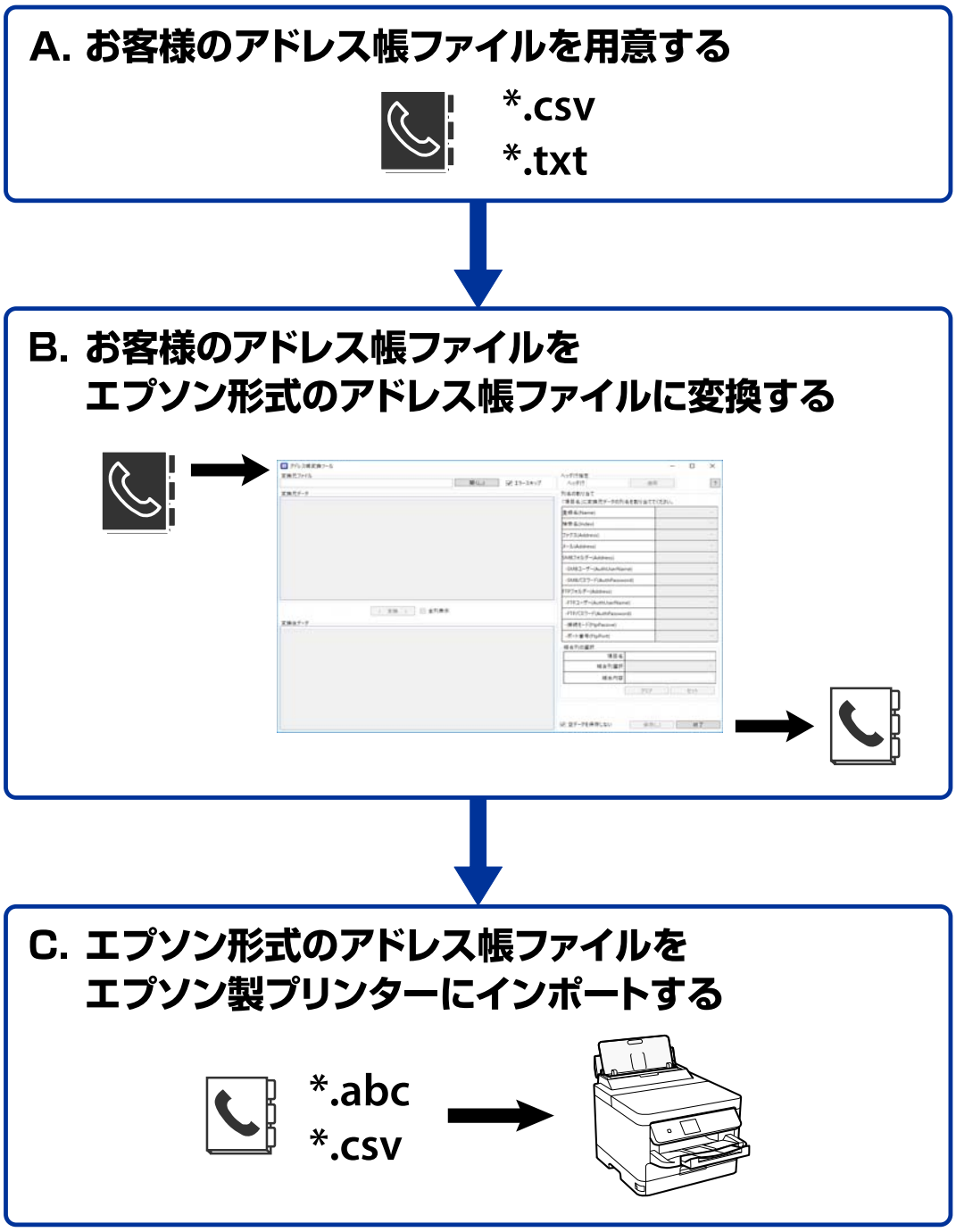
15. チェックを付けると、［Address］列に値がある行が表示、保存されます。

    チェックを外すと、［Adddress］列に値のない行がグレーで表示され、その行も保存されます。

16. ファイルの保存先と保存形式を選択するダイアログボックスが開きます。

17. アドレス帳変換ツールを終了します。

お客様のアドレス帳をエプソン製プリンターにインポートする流れ



A. お客様のアドレス帳ファイルを用意する

変換元のファイルを用意します。

B. お客様のアドレス帳ファイルをエプソン形式のアドレス帳ファイルに変換する

変換元ファイルをアドレス帳変換ツールに読み込んで変換します。

(1) ファイルを読み込みます。

(2) 変換元の内容を確認します。
(3) 列名の割り当てを決定します。
(4) 変換します。
(5) 変換後の内容を確認します。
(6) 変換したファイルを保存します。

C. エプソン形式のアドレス帳ファイルをエプソン製プリンターにインポートする

変換後のファイルをプリンターにインポートします。

お客様のアドレス帳ファイルをエプソン製プリンターにインポートする

お客様のテキストアドレス帳ファイル（.csvや.txt）を、エプソン製プリンターにインポートする方法を説明します。

お客様のアドレス帳ファイルを用意する

変換元のテキストアドレス帳ファイルを用意してください。
以下の形式のテキストファイルを変換できます。

カンマ区切りのテキストファイル

- 拡張子：*.csv
- 区切り文字：カンマ（,）

タブ区切りのテキストファイル

- 拡張子：*.txt
- 区切り文字：タブ (ASCII 文字コード：0x09)

!重要 ExcelでCSVファイルをダブルクリックや［ファイル］メニューから開くと、電話番号などの先頭にある「0」が削除されてしまうことがあります。ExcelでCSVファイルを開くときは、［データ］メニュー-［データの取得］-［ファイルから］-［テキストまたはCSVから］を選択してください。

参考
- バイナリーファイルは変換できません。
- 他社製プリンターからエクスポートする場合、テキストファイルでエクスポートしてください。エクスポートの方法や注意事項などは他社製プリンターのマニュアルをご覧ください。
- XML形式やSLK形式のテキストファイルの場合は、Excel等を利用してCSV形式に変換してください。
- Excelファイルの場合は、Excelを利用してCSV形式に変換してください。

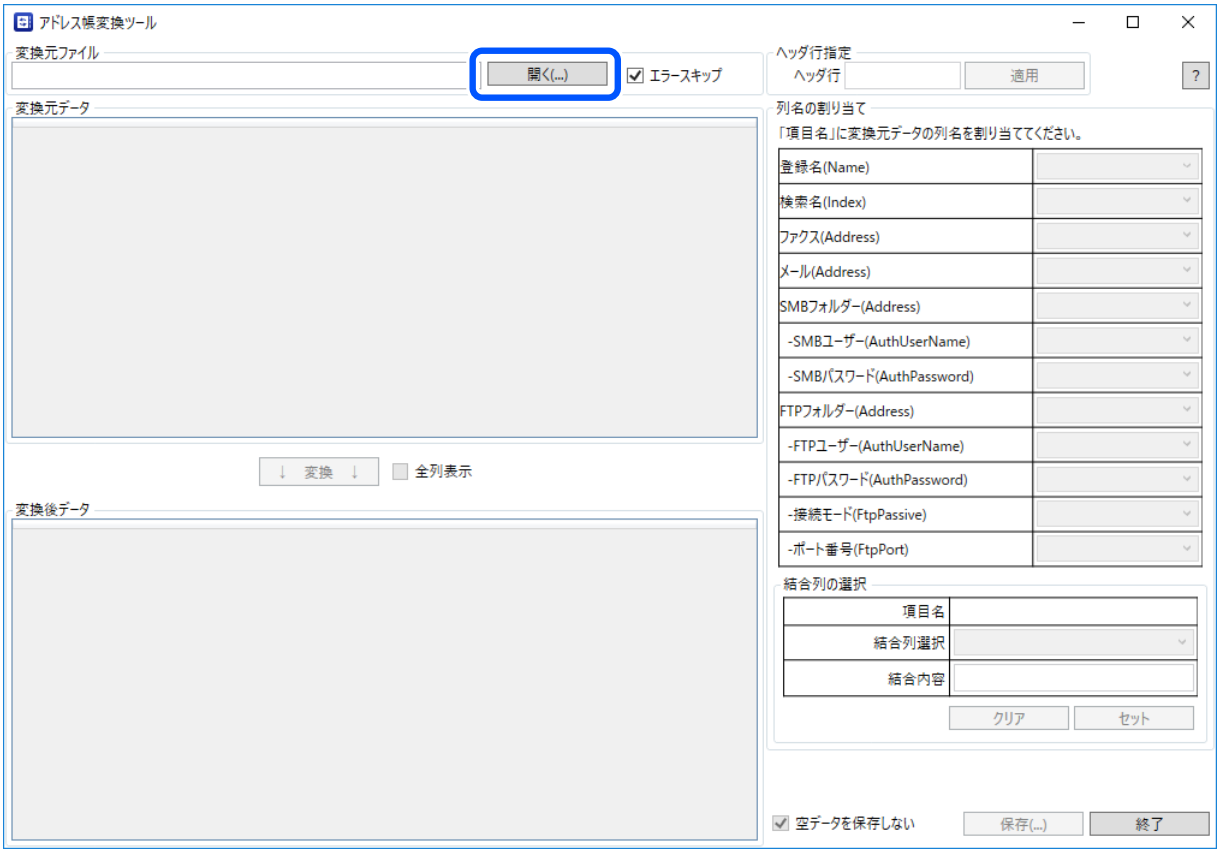
お客様のアドレス帳ファイルをエプソン形式のアドレス帳ファイルに変換する

アドレス帳変換ツールを使って、お客様のアドレス帳ファイルをエプソン形式のアドレス帳ファイルに変換する操作を説明します。

1. アドレス帳変換ツールを起動します。

2. ［開く］をクリックします。

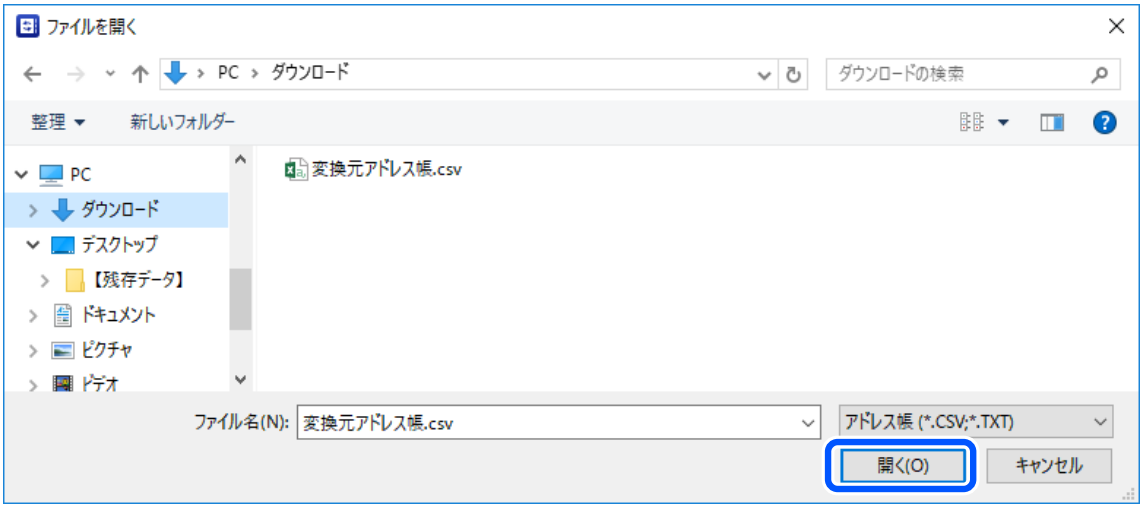
参考 ［エラースキップ］にチェックを付けてファイルを開くと、変換元ファイルのエラーをスキップします。
［エラースキップ］のチェックを外してファイルを開くと、変換元ファイルのエラー内容を表示します。



3. 変換元ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

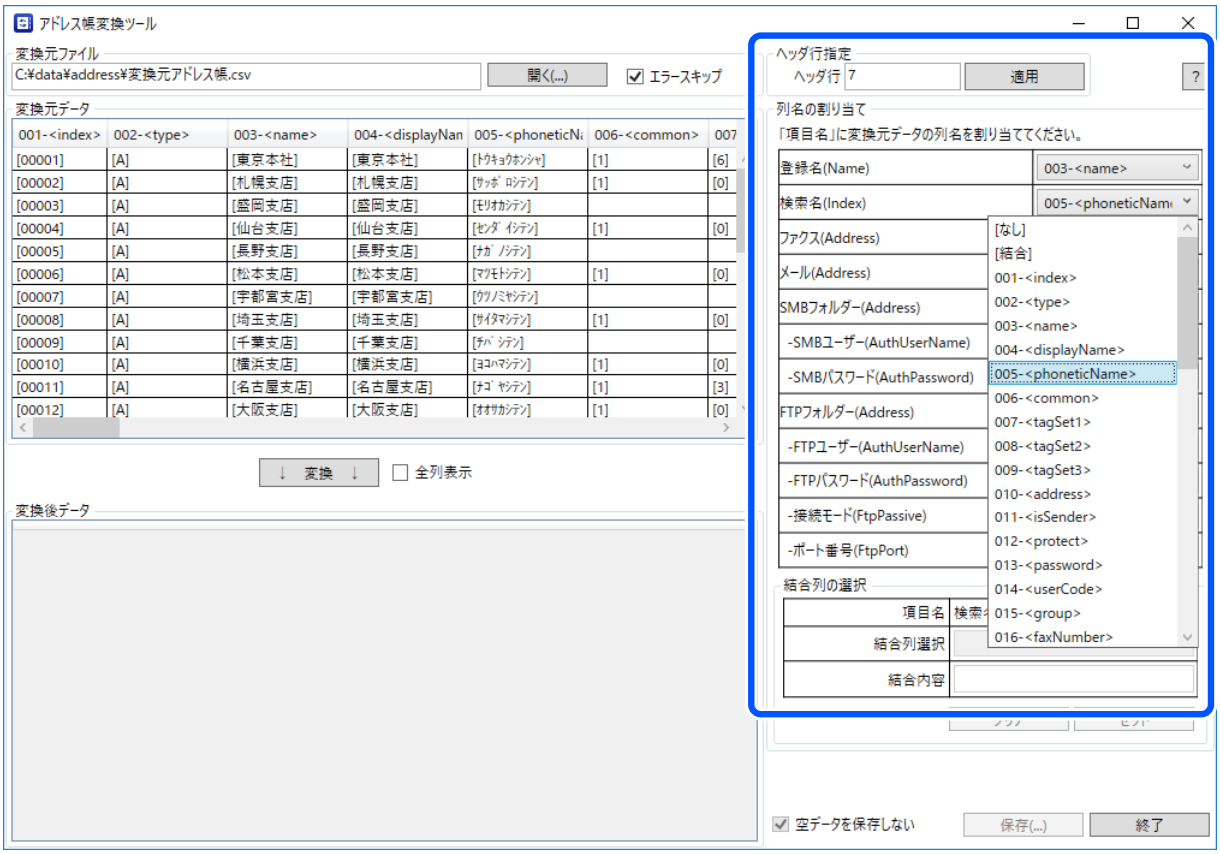
［変換元データ］に読み込んだ結果が表示されます。

参考 変換元ファイルにエラーがある場合、読み飛ばした行数が表示されます。［OK］をクリックしてください。
エラーの内容を確認するには、［エラースキップ］のチェックを外して変換元ファイルを開き直してください。



4. 列名を割り当てます。以下を参考に、変換元と変換後の列名を割り当てます。

読み込んだファイルの列名をツールが解釈できた場合は、項目に列名が自動で割り当てられます。
読み込んだファイルの列名をツールが解釈できなかった場合は［なし］が選択されます。



- ヘッダ行指定
  ［ヘッダ行］にツールが認識したヘッダ行（見出し行）の行番号が表示されています。ヘッダが異なる場合は、行番号を入力して［適用］をクリックしてください。ヘッダ行がない場合は”0”を入力してください。

- 列名の割り当て
  左の列がエプソン製プリンターの項目です。右の列で列名を選択して項目を割り当ててください。
  読み込んだファイルの列名をツールが解釈できた場合は、項目に列名が自動で割り当てられます。正しく割り当てられているか確認してください。
  読み込んだファイルの列名をツールが解釈できなかった場合は［なし］が選択されます。列名を手動で割り当ててください。

分類	項目(ヘッダ)	説明
共通	登録名(Name)	アドレス帳の登録名です。
	検索名(Index)	登録名の読み仮名です。検索に使用されます。
ファックス宛先	ファックス(Address)	ファクス番号です。（注1）
メール宛先	メール(Address)	メールアドレスです。（注2）
フォルダー（SMB）宛先	SMBフォルダ(Address)	共有フォルダーのネットワークパスです。
	-SMBユーザー(AuthUserName)	フォルダーにアクセスするためのユーザー名です。
	-SMBパスワード(AuthPassword)	フォルダーにアクセスするためのパスワードです。 暗号化されている場合は取り込みできません。列名に［なし］を選択して変換し、エクスポート･インポートツール（Epson Device AdminやWeb Config）などで個別に入力してください。
フォルダー（FTP）宛先	FTPフォルダ(Address)	FTPサーバーのURLです。
	-FTPユーザー(AuthUserName)	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名です。
	-FTPパスワード(AuthPassword)	FTPサーバーにアクセスするためのパスワードです。 暗号化されている場合は取り込みできません。列名に［なし］を選択して変換し、エクスポート･インポートツール（Epson Device AdminやWeb Config）などで個別に入力してください。
	-接続モード(FtpPassive)	FTPサーバーの接続モード（パッシブモード）のオフ（0）、オン（1）設定です。
	-ポート番号(FtpPort)	FTPサーバーとの通信に使用するポート番号です。

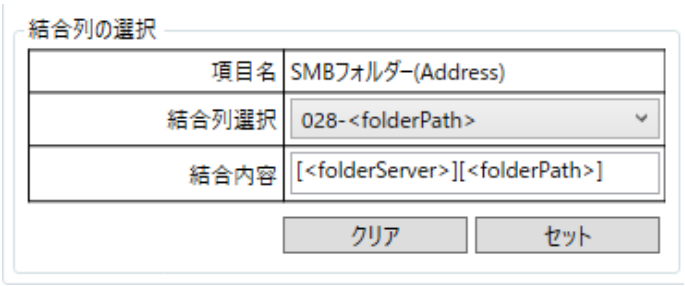
注1: ファクス宛先は、ファクス番号にのみ対応しています。

通信モード、Fコード、常用指定、グループ登録、などは変換できません。変換後にエクスポート・インポートツール(Epson Device AdminやWeb Config)などで個別に入力してください。
移行前のプリンターにFコードを使った親展送信を設定していた場合、変換後にFコードを設定し直してください。Fコードが設定されていないと、親展送信が解除されて通常送信になることがあります。
ファクス番号に制御コードが付加されていると、ファクス番号の取り込みができません。変換後にファクス番号を設定し直してください。
例）電話番号と「03 1234 5678」サブアドレス「123456」が一体になって「03 1234 5678S123456」となっているような場合。変換エラーとなってファクス番号は取り込まれません。

注2: メール宛先はメールアドレスにのみ対応しています。

グループ登録などの情報には対応していません。変換後にエクスポート・インポートツール(Epson Device AdminやWeb Config)などで個別に入力してください。

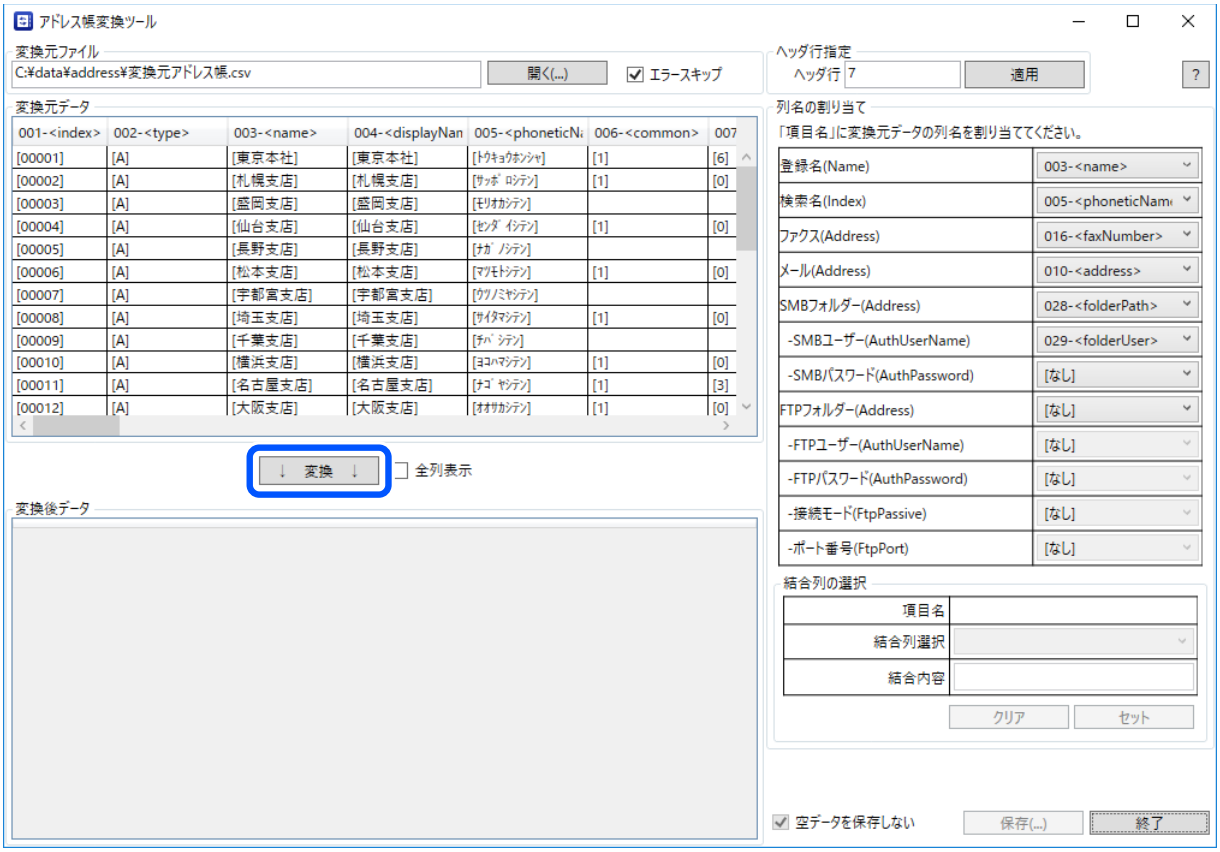
- 結合列の選択
  変換元の複数の列名を結合させて、1つの項目に割り当てできます。
  例えば、「SMBフォルダ(Address)」はエプソン形式は「コンピューター名/IPアドレス」と「パス」を1つの列で指定しますが、他社の形式などでは「コンピューター名/IPアドレス」と「パス」が別々の列に分かれている場合があります。
  この場合、以下のように設定して変換すると1つの項目に割り当てできます。
  1.［列名の割り当て］の「SMBフォルダ(Address)」で[結合]を選択します。
  2.［結合列選択］に「コンピューター名/IPアドレス」列と「パス」列をセットします。



項目	説明
項目名	［列名の割り当て］の右の列で［結合］を選択した変換後の項目名が表示されます。
結合列選択	変換元の列名を選択します。［セット］をクリックすると列名が結合内容にインプットされます。
結合内容	結合を設定している列名が表示されます。［クリア］をクリックすると結合内容がクリアされます。

5. ［変換］をクリックします。

変換が始まり、結果が［変換後データ］に表示されます。
［全列表示］にチェックを付けるとエプソン製プリンターの項目全てが表示されます。

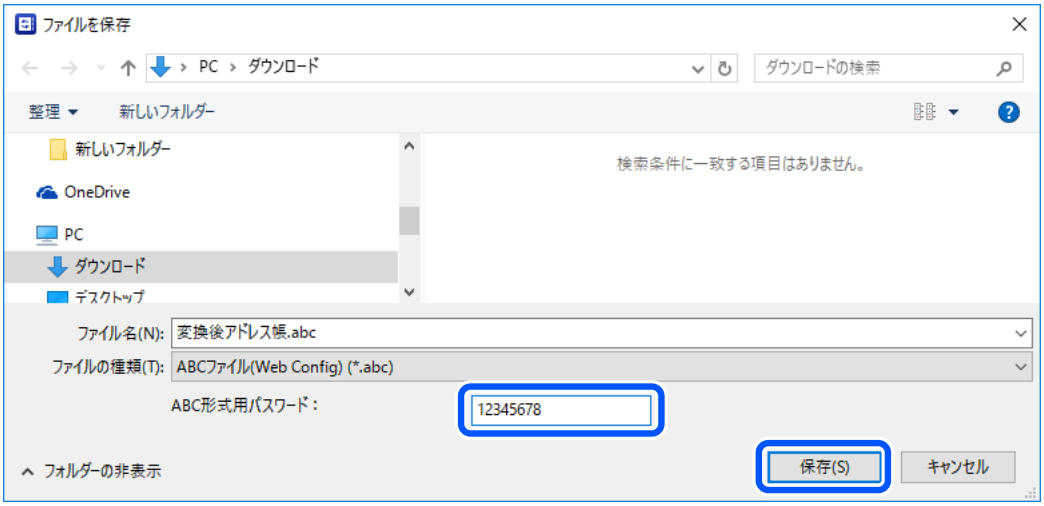


6. ［保存］をクリックします。

［空データを保存しない］のチェックを外すと、[Address]列に値がない行がグレーで塗られて表示され、その行も保存されます。

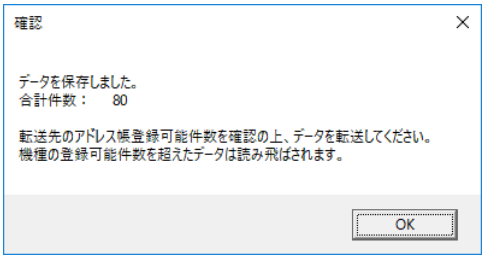
7. ファイルの保存形式と保存先、ファイル名を指定します。

- ABCファイル（*.abc）（Web Config向け）
  パスワードで保護したバイナリ形式で保存されます。保存形式にABCを選択すると表示されるパスワード入力欄で、任意のパスワードを設定してください。パスワードは半角英数字を使って20文字以内で入力してください。
  Web Configを使ってプリンターへインポートします。
- CSVファイル（*.csv）（Epson Device Admin向け）
  CSV形式で保存されます。保存されたファイルを修正することができます。
  Epson Device Adminを使ってプリンターへインポートします。



8. ［保存］をクリックします。

指定場所にファイルが保存されます。 確認メッセージで［OK］をクリックします。



複数のアドレス帳ファイルを1つにまとめる

お客様のアドレス帳ファイルが複数ファイルに分かれている場合があります。以下の手順で複数のアドレス帳ファイルを1つにまとめることができます。

1. 1つ目のアドレス帳ファイルを変換します。

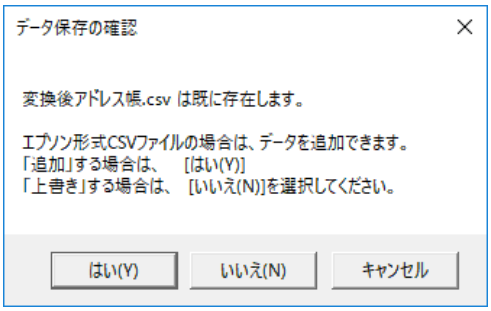
「お客様のアドレス帳ファイルをエプソン形式のアドレス帳ファイルに変換する」の手順2～手順8と同じ手順で変換を行います。

手順７でCSVファイル（*.csv）を指定して任意のファイル名を付けて[保存]をクリックします。

2. 2つ目のアドレス帳ファイルを変換します。

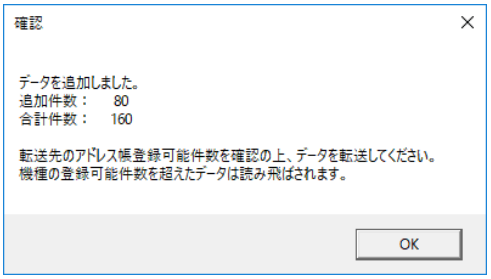
「お客様のアドレス帳ファイルをエプソン形式のアドレス帳ファイルに変換する」の手順2～手順8と同じ手順で変換を行います。

手順７で1）で保存したCSVファイル（*.csv）を指定して[保存]をクリックします。



「データ保存の確認」画面で［はい］（追加）をクリックします。

先に保存したファイルに、データが追加されます。



3. 3つ目以降のアドレス帳ファイルを変換します。

上記の手順を繰り返し、先に保存したファイルにデータを追加します。

参考 複数のCSVファイルをまとめたファイルをWeb Configでインポートする場合は、CSVファイルをABCファイルに保存し直してください。

アドレス帳をプリンターへインポートする

変換したアドレス帳ファイルをエプソン製プリンターへインポートします。インポートするファイル形式によって使用するソフトウェアが異なります。
どちらもプリンターがネットワークで接続されている必要があります。

- ABCファイル（*.abc）（Web Config向け）
  Web Configを使ってプリンターへインポートします。
- CSVファイル（*.csv）（Epson Device Admin向け）
  Epson Device Adminを使ってプリンターへインポートします。

ABC形式のアドレス帳をインポートする

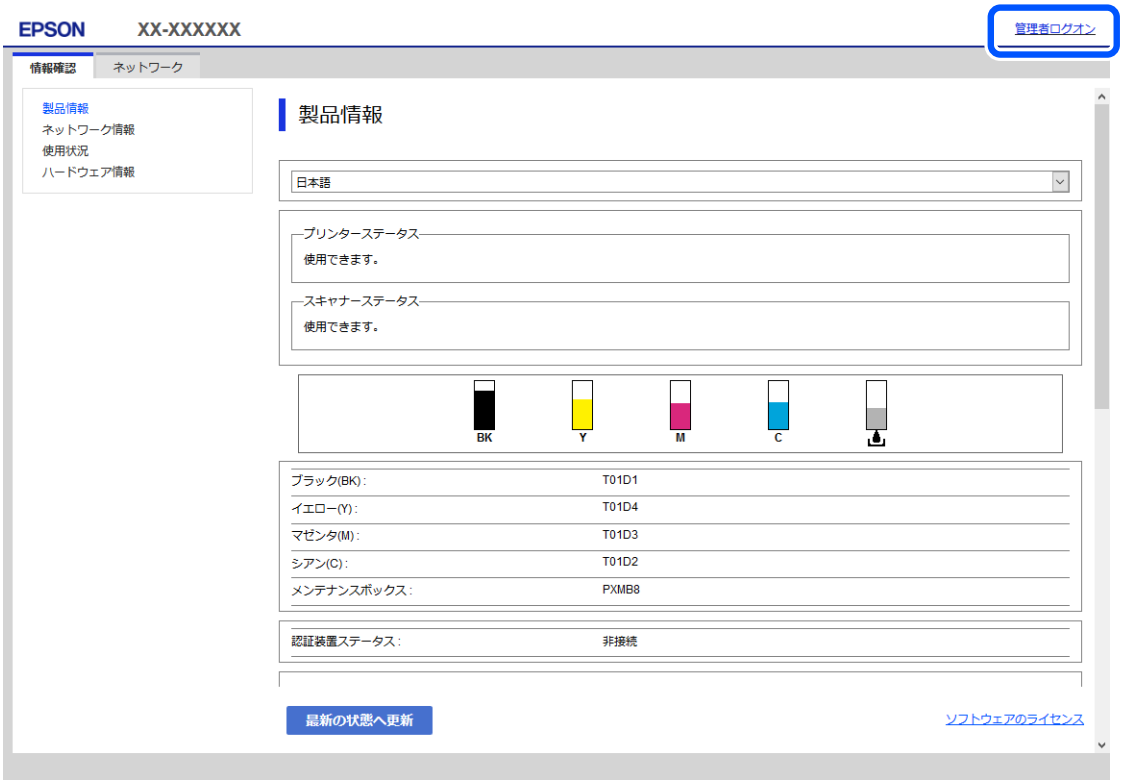
Web Configを使って、ABC形式のアドレス帳ファイルをエプソン製プリンターにインポートします。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   ブラウザーのJavaScriptを有効にしてください。HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されます。
   以下のように入力してください。

   - HTTPSアクセス
     IPv4：https://プリンターのIPアドレス （例）https://192.0.2.111/
     IPv6：https://[プリンターのIPアドレス]（例）https://[2001:db8::1000:1]/
   - HTTPアクセス
     IPv4：http://プリンターのIPアドレス （例）http://192.0.2.111/
     IPv6：http://[プリンターのIPアドレス]（例）http://[2001:db8::1000:1]/

2. 管理者パスワードが設定されている場合、［管理者ログオン］をクリックし、ユーザー名と現在のパスワードを入力して管理者としてログオンします。

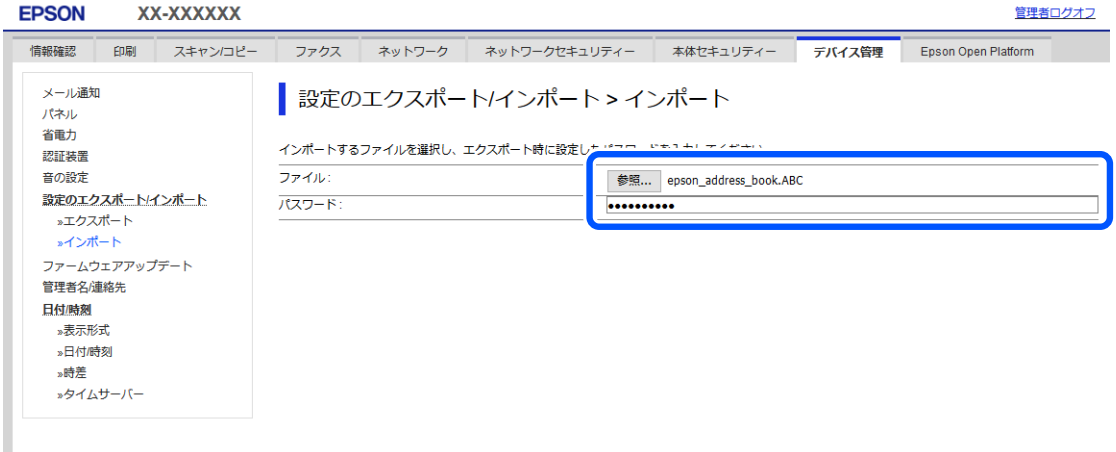


3. お使いのプリンターに合わせ以下を開きます。
   - ［デバイス管理］＞［設定のエクスポート/インポート］ ＞ ［インポート］
   - ［設定のエクスポート/インポート］ ＞ ［インポート］

4. ［参照］をクリックし、ABC形式のアドレス帳ファイルを選択します。

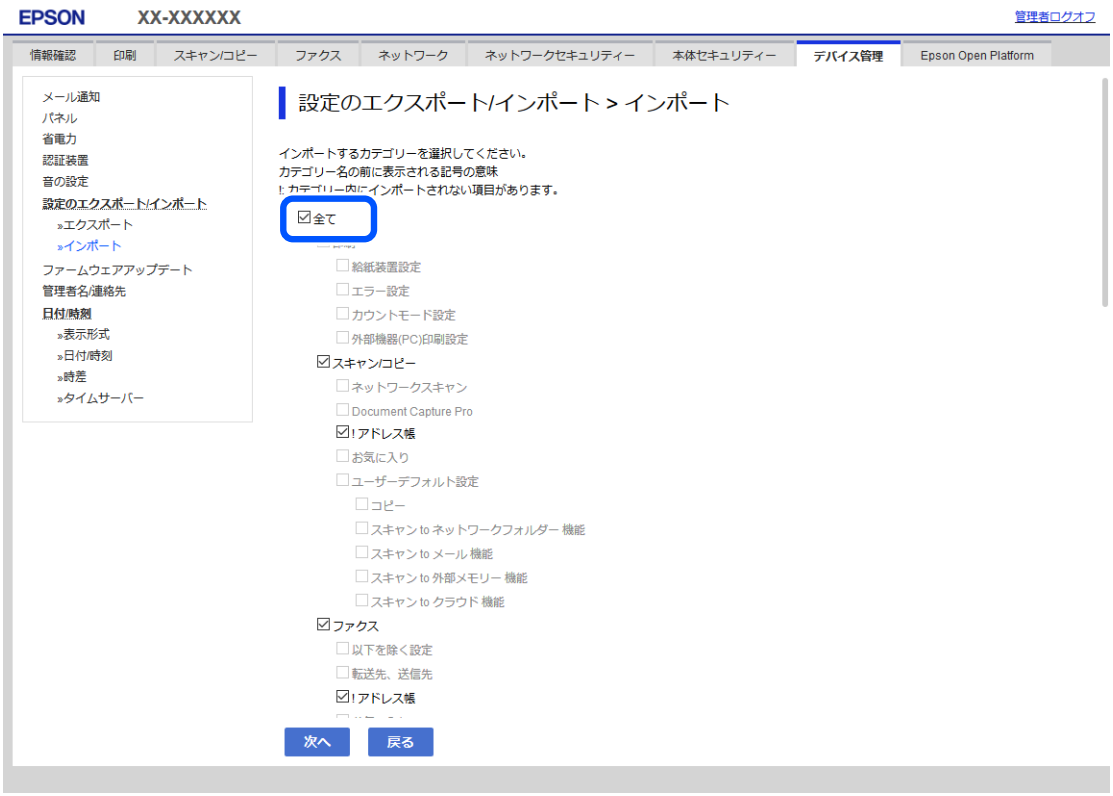
5. ファイル保存時に設定したパスワードを［パスワード］へ入力します。

   インポートするカテゴリーを限定したいときは、必要な項目のみ選択します。



6. ［次へ］をクリックします。

7. ［全て］をクリックします。



8. ［次へ］をクリックします。

9. ［設定］をクリックします。

アドレス帳ファイルが転送されます。

CSV形式のアドレス帳をインポートする

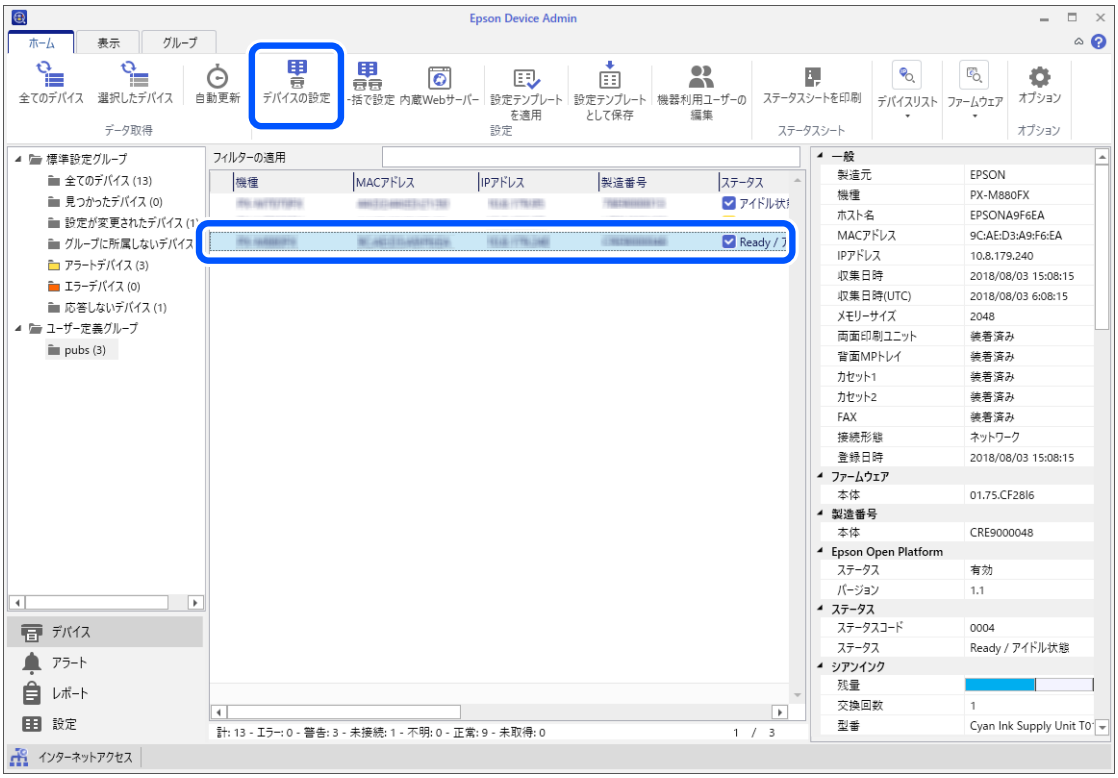
Epson Device Adminを使って、CSV形式のアドレス帳ファイルをエプソン製プリンターにインポートします。 1台のプリンターへインポートする方法と複数のプリンターに一括でインポートする方法があります。

1台のプリンターにCSV形式のアドレス帳をインポートする

CSV形式のアドレス帳ファイルを、1台のエプソン製プリンターにインポートします。

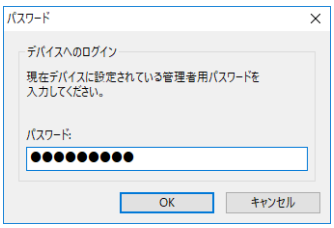
1. Epson Device Adminを起動します。

2. デバイス一覧からアドレス帳ファイルをインポートするプリンターを選択し、［デバイスの設定］をクリックします。

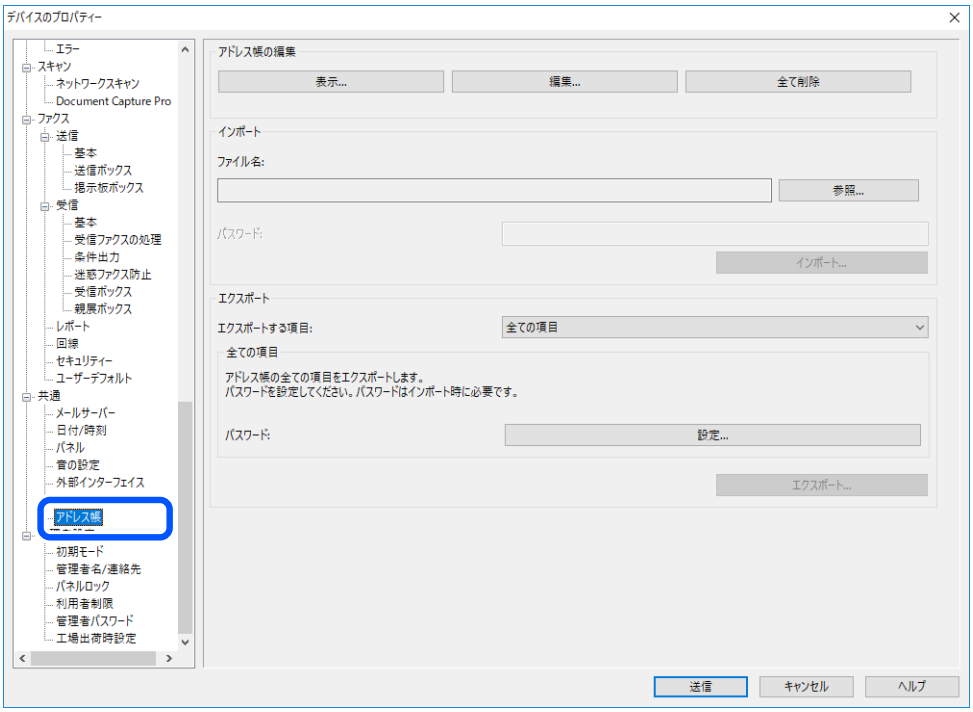


3. プリンターの管理者パスワード入力して［OK］をクリックします。

プロパティー画面が作成されます。

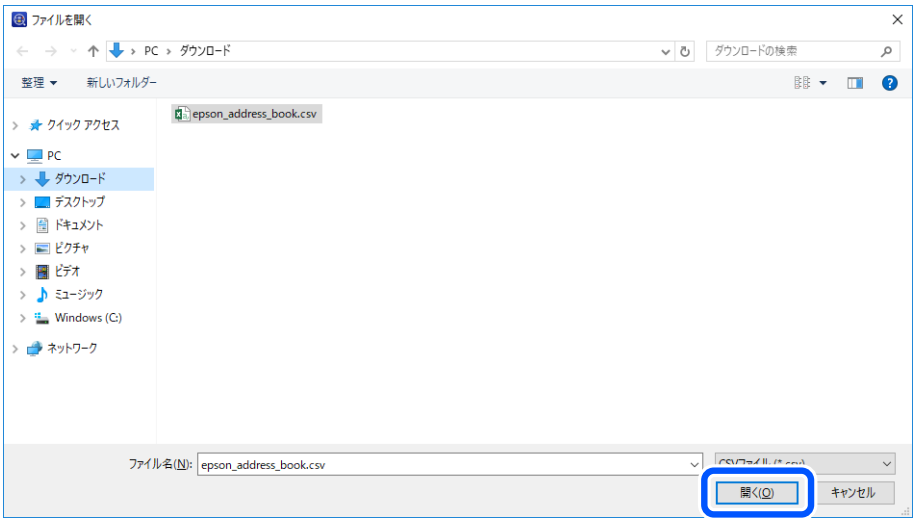


4. 左のメニューから［アドレス帳］をクリックします。

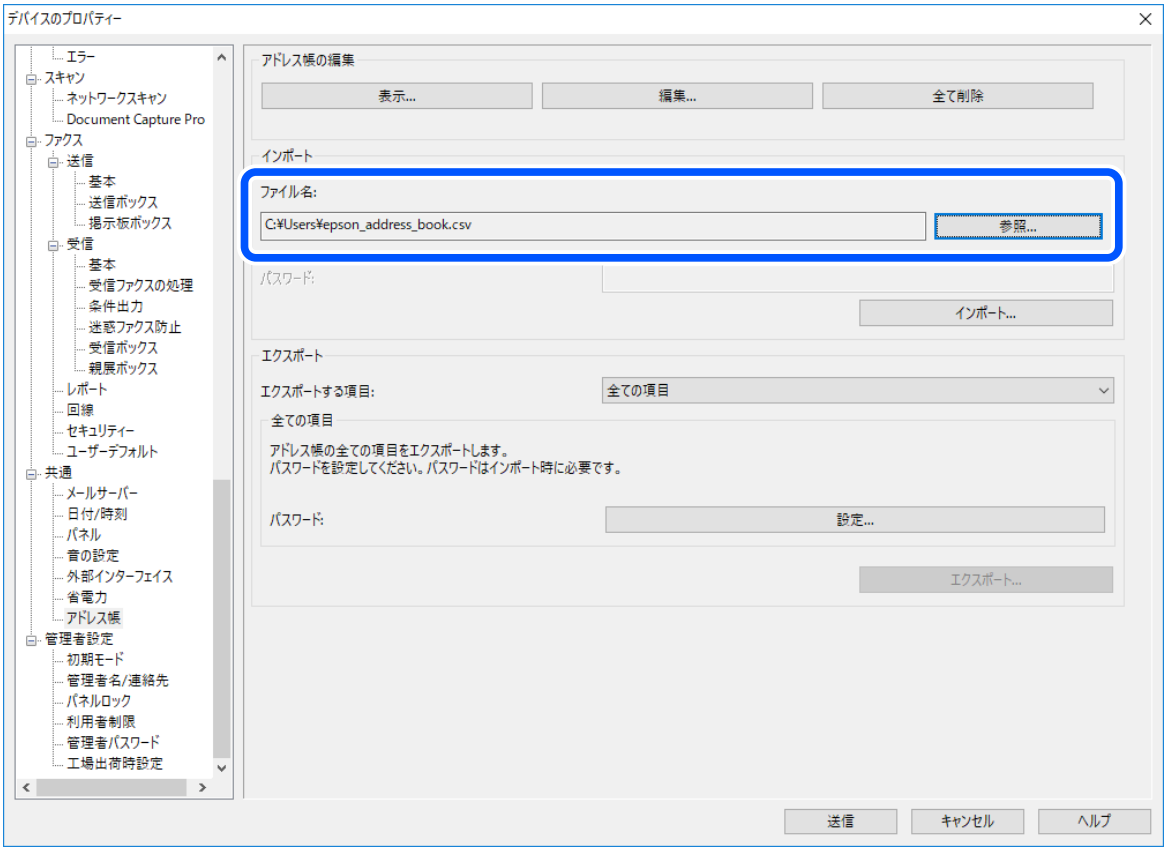


5. ［インポート］から［参照］をクリックして［CSVファイル（*.csv）］を選択し、インポートするアドレス帳を選択します。

6. ［開く］をクリックします。



7. ［送信］をクリックします。

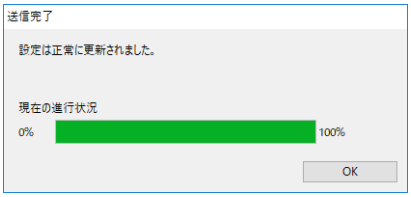


8. 確認画面で［OK］をクリックします。

ファイルがプリンターに送信されます。

9. ［OK］をクリックします。

デバイス一覧に戻ります。



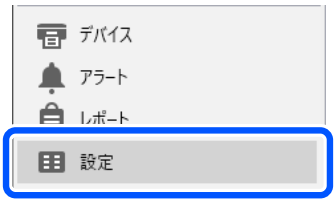
複数のプリンターにCSV形式のアドレス帳をインポートする

CSV形式のアドレス帳ファイルを、複数のエプソン製プリンターに一括でインポートします。

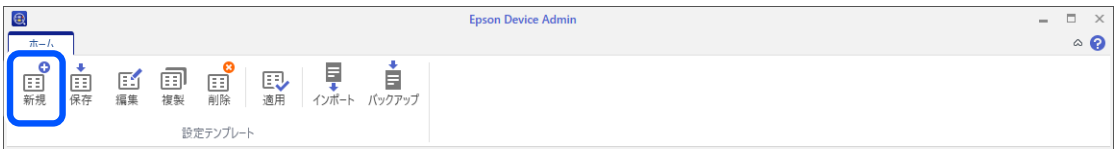
!重要 プリンターに管理者パスワードを設定している場合、先にパスワード設定を行ってください。
1. デバイス一覧を表示し、［オプション］ - ［パスワード管理］を選択します。
2. ［自動パスワード管理機能を有効にする］にチェックを付けて、［パスワード管理］をクリックします。
3. 該当するプリンターを選択して［編集］をクリックします。
4. パスワードを設定して、［登録/更新］をクリックします。

1. Epson Device Adminを起動します。

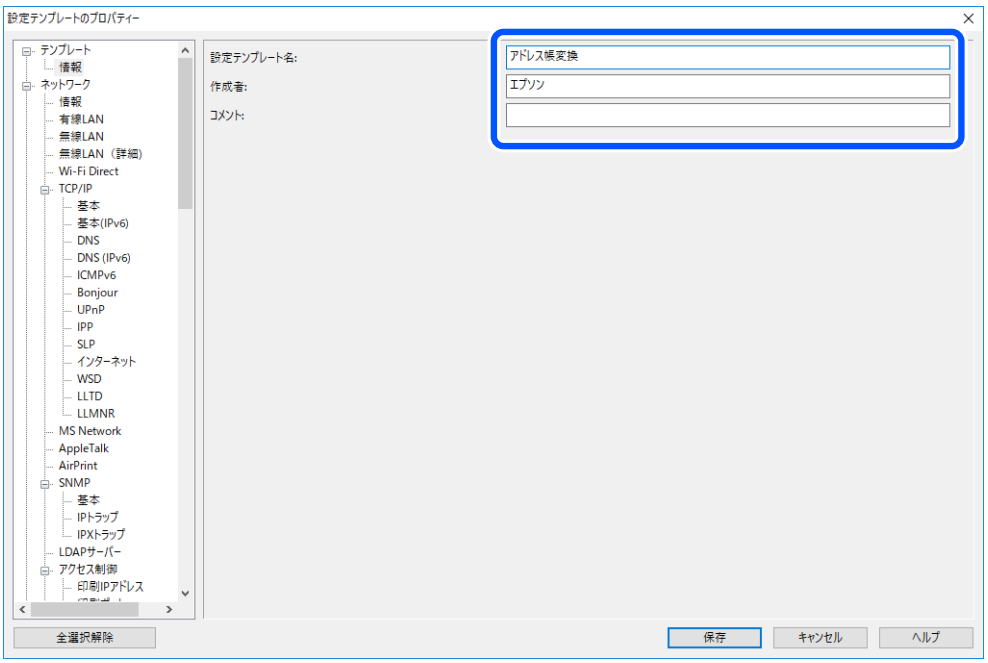
2. サイドバータスクメニューから［設定］を選択します。



3. リボンメニューで［新規］を選択します。

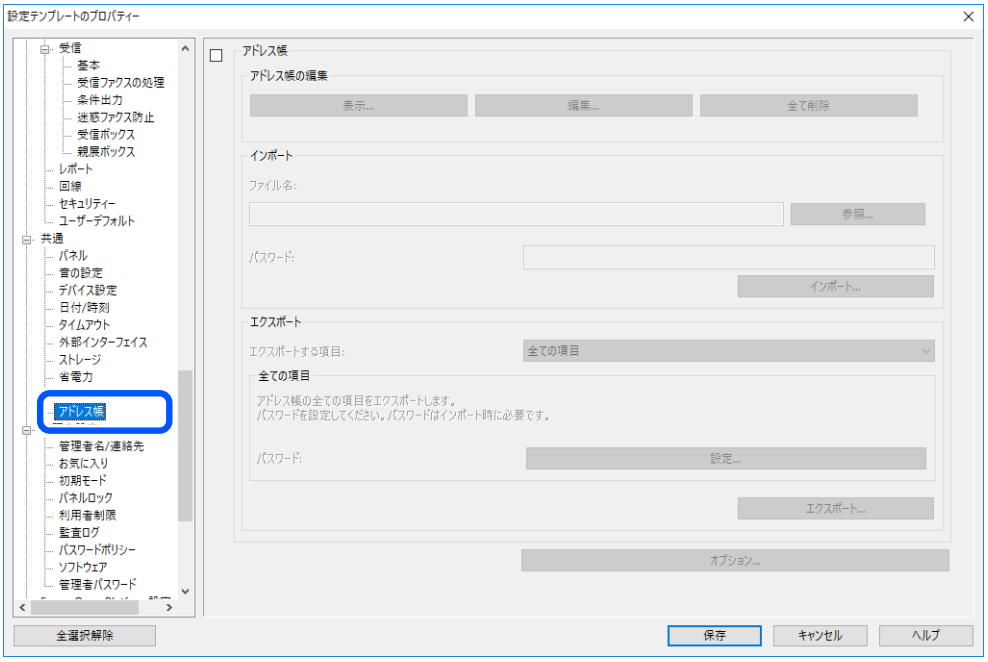


4. 各項目を設定します。

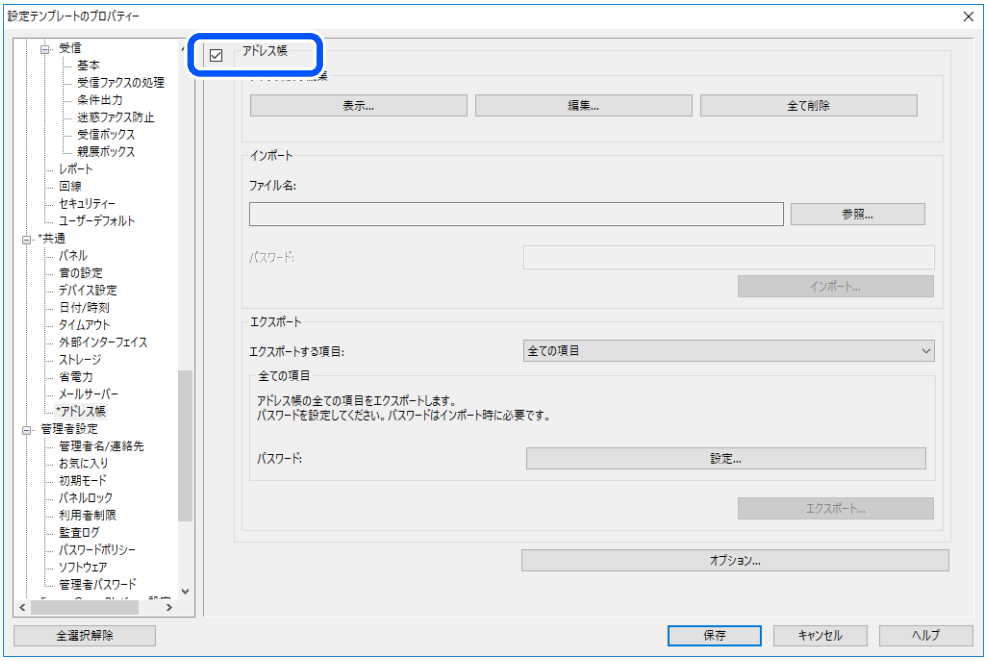


- 設定テンプレート名
  設定テンプレートの名称です。
  Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
- 作者名
  テンプレートの作成者情報です。
  Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
- コメント
  任意の情報を入力します。
  Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。

5. 左のメニューから［アドレス帳］を選択します。

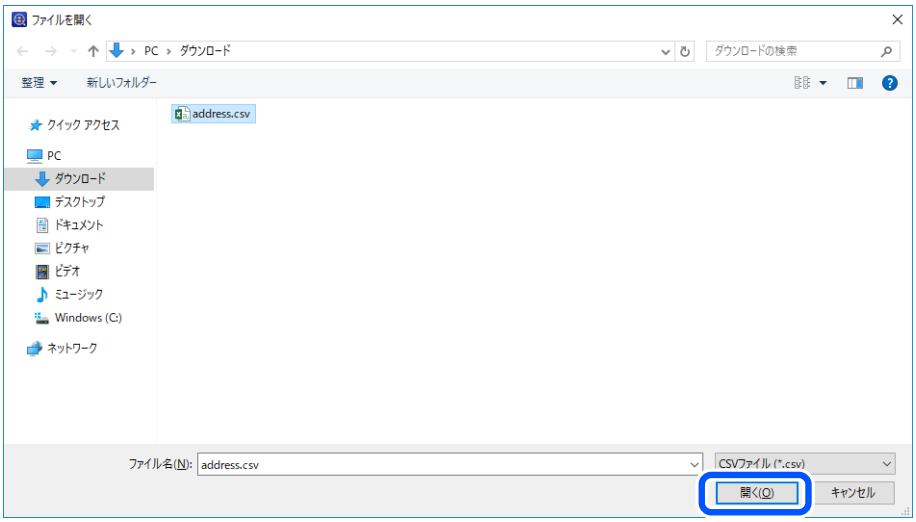


6. ［アドレス帳］にチェックを付けます。

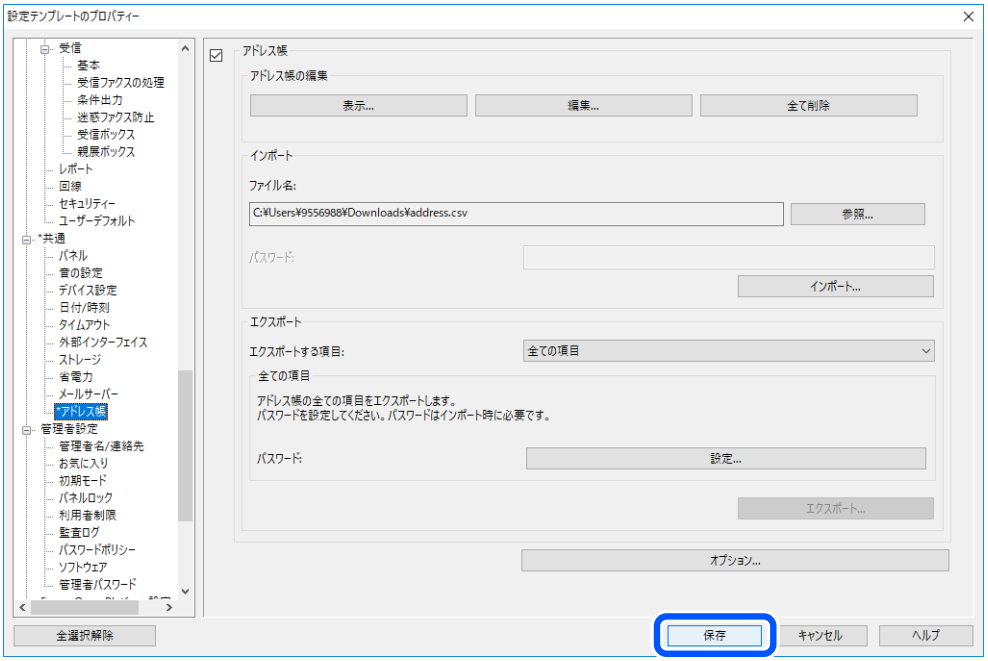


7. ［インポート］から［参照］をクリックして［CSVファイル（*.csv）］を選択し、インポートするアドレス帳を選択します。

8. ［開く］をクリックします。



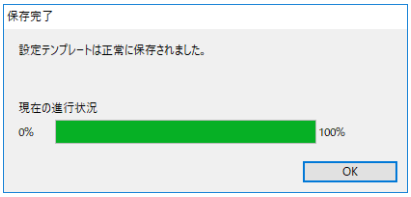
9. ［保存］をクリックします。



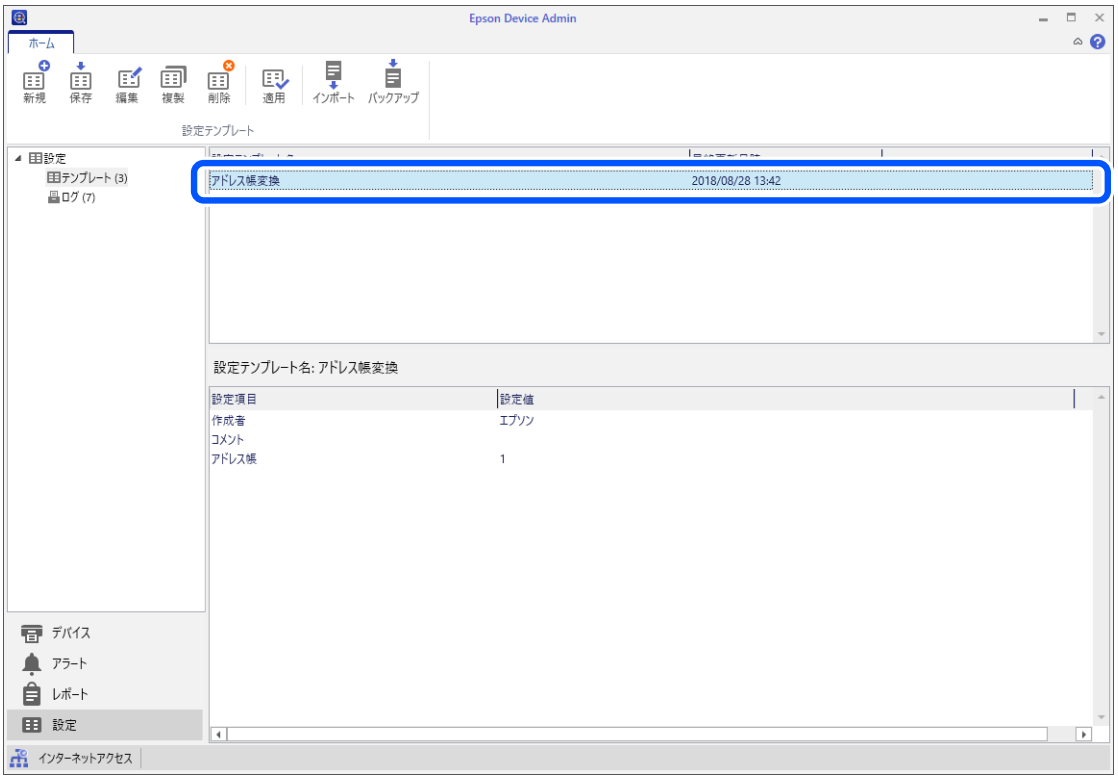
10. 確認画面で［OK］をクリックします。

11. ［OK］をクリックします。

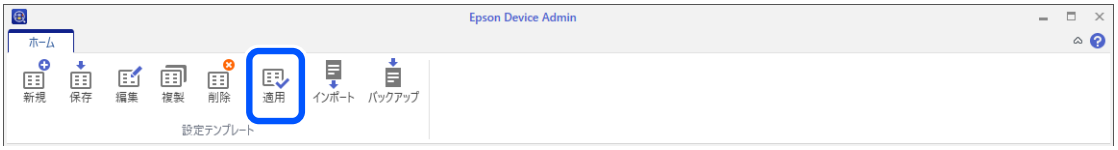
設定テンプレート管理画面に戻ります。



12. ［設定テンプレート名］からアドレス帳を設定した設定テンプレートを選択します。



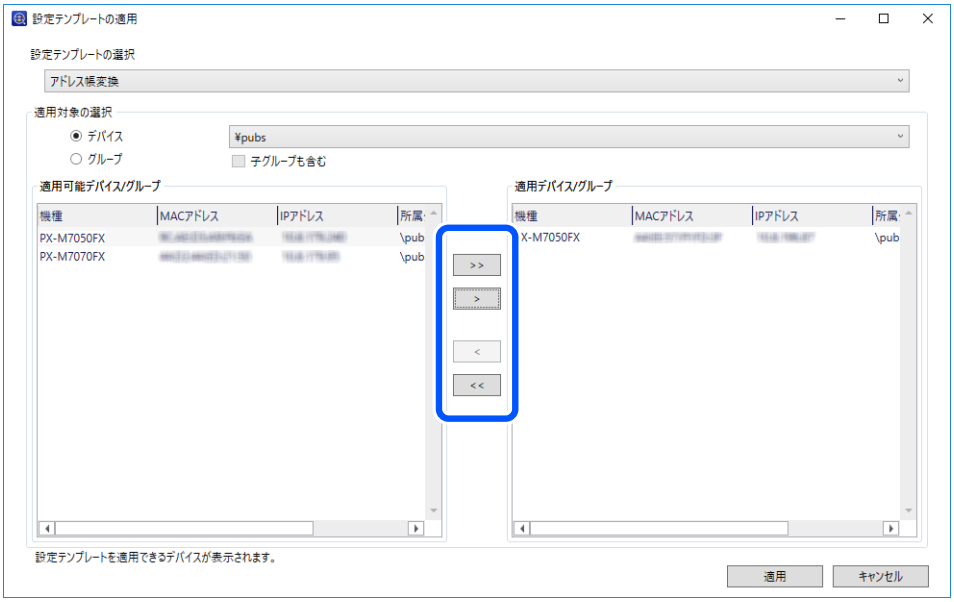
13. リボンメニューで［適用］をクリックします。



14. 設定テンプレートを適用する対象を選択します。

15. 適用するプリンターまたはグループを［>］、［>>］、［<］、［<<］を使って［適用デバイス/グルー プ］へ移動します。

［>］は選択したプリンターまたはグループ、［>>］は全てのプリンターまたはグループを移動できます。複数のプリンターやグループを選択するときは、［Ctrl］または［Shift］を押したままクリックして選択してください。



16. ［適用］をクリックします。

    設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。

17. ［OK］をクリックします。

    適用結果画面表示されます。

18. ［閉じる］をクリックします。

システム環境

アドレス帳変換ツールの動作には以下の環境が必要です。

ハードウェア

ディスプレイ：1024×768 以上

オペレーションシステム

Windows® 10 日本語版
Windows® 8.1 日本語版
Windows® 8 日本語版
Windows® 7 日本語版

必須ソフトウェア

.NET Framework 4.5.1 以降

付録

表示されるメッセージ

ファイルの読み込みや保存などで表示されるメッセージは以下の通りです。

メッセージ	説明
取り扱えないファイルです。 [XXX] 行目のデータがヘッダ行の列数と一致しません。 ヘッダ行の列数[YYY]、対象行の列数[ZZZ]	ヘッダ行の列数とデータ行の列数が一致していない場合に表示されます。 • XXX: 問題が発生したファイル中の行数 • YYY: ツールが認識したヘッダ行中の列数 • ZZZ: 問題が発生したデータ行中の列数 参考 ファイルをメモ帳などで開いて先頭行を削除すると、読み込めることがあります。
XXX 行分のデータを読み飛ばしました。 詳細を確認したい場合は「エラースキップ」をOFFに設定し、再読み込みしてください。	読み飛ばされたデータがある場合、読み飛ばされたデータの行数が表示されます。 XXX: 読み飛ばしたデータ行数
取り扱えないファイルです。 データが存在しないファイルが指定されました。	以下の場合に表示されます。 • 空のファイルが指定された • ヘッダ行のみが存在するファイルが指定された ヘッダ行を再度指定したとき、ヘッダ行以降にデータが存在しない場合にも表示されます。
取り扱えないファイルです。 ヘッダ行の列情報に重複があります。	ヘッダ行に同じ情報を持つ列が存在した場合に表示されます。 ヘッダ行を再度指定したとき、指定されたヘッダ行が重複する場合にも表示されます。 参考 ファイルをメモ帳などで開いて重複しているヘッダー名を変更すると、読み込めることがあります。 例）ヘッダー行に同じ項目名が複数ある場合。別の項目名に変更してください。 「,,Quality,,Quality,,Quality,,」のような場合は「,,Quality,,Quality1,,Quality2,,」のように番号を付加して項目名を変更してください。
データを保存しました。 合計件数： XXX 転送先のアドレス帳登録可能件数を確認の上、データを転送してください。 機種の登録可能件数を超えたデータは読み飛ばされます。	XXX: ファイルの保存に成功した場合の実際に保存したデータ件数
エプソン形式CSVファイルでないため、追加できません。	データを追加するファイルに、本ソフトが生成していないCSVファイルが指定された場合に表示されます。
データを追加しました。 追加件数： XXX 合計件数： YYY 転送先のアドレス帳登録可能件数を確認の上、データを転送してください。 機種の登録可能件数を超えたデータは読み飛ばされます。	XXX: 追加したデータ件数 YYY: 追加後のファイルに含まれるデータ件数
取り扱えないファイルです。 ヘッダ行の列数が999を超えています。	ヘッダ行に1000列以上のデータが存在した場合に表示されます。
CSV ファイルの書き込みに失敗しました。 ※	ファイル保存時にエラーが発生した場合に表示されます。

メッセージ	説明
パスワードを入力してください。	ABC形式で保存するとき、パスワードを入力しなかった場合に表示されます。
パスワードは20文字以内で入力してください。	ABC形式で保存するとき、20文字を超えるパスワードを設定した場合に表示されます。
パスワードは半角文字で入力してください。	ABC形式で保存するとき、1バイト文字以外でパスワードを設定した場合に表示されます。
ABC ファイルの書き込みに失敗しました。 ※	ファイルを保存するとき、エラーが発生した場合に表示されます。
バイナリ一化処理に失敗しました。	ABC 形式への変換に失敗した場合に表示されます。
扱えないフォーマットが指定されました。	保存形式に、ABC形式やCSV形式以外を指定した場合に表示されます。
システムエラーが発生しました。※	システムエラーの場合に表示されます。

※：記載しているメッセージに続いて、例外メッセージが表示される場合があります。

オープンソースソフトウェアライセンス

本ソフトウェアは以下のオープンソースモジュールを使用しています。

OpenSSL

LICENSE ISSUES
==========
The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of
the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts.
OpenSSL License

/* ==
* Copyright (c) 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in
* the documentation and/or other materials provided with the

* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
* software must display the following acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
* endorse or promote products derived from this software without
* prior written permission. For written permission, please contact
* openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* ==
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL

* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

Json.NET

Copyright (c) 2007 James Newton-King
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT
HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE
OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

商標など

- EPSON およびEXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

© Seiko Epson Corporation 2018